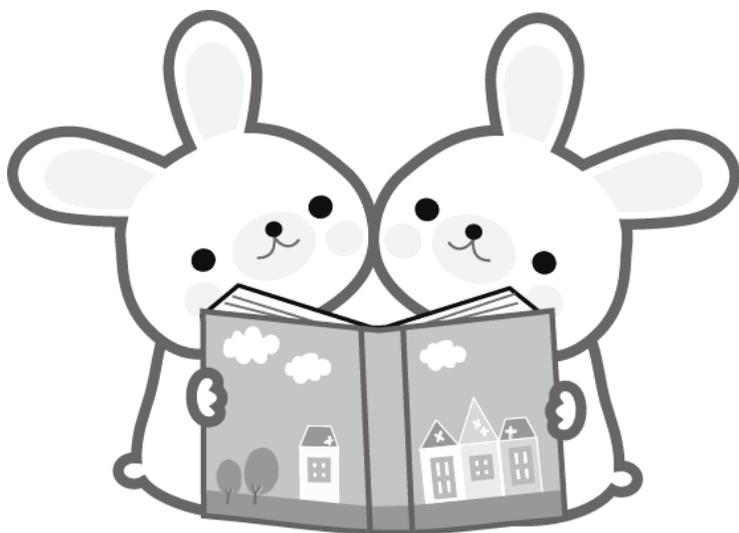
いっしょに本読も！
家読(うちどく)おすすめリスト 2013年版

砺波市の小・中学校で

子どもたちのそばで読書を見守る

学校図書館司書が選んだ

今、家族で読むおすすめの

本を紹介します。

（表示の金額は 2013.11 月時点の本体価格です）

発行：砺波市教育委員会

発行日：２０１３．１１．２２
編集：砺波市立図書館

幼稚園・保育所・小学校低学年向き

ぐりとぐらの１ねんかん

中川 李枝子／文，山脇 百合子／絵　福音館書店
1997 年 ￥1,300−

季節感がなくなってきたと言われていますが、かわいい「ぐりとぐら」と一緒に季節の移ろいを楽しみましょう。中川さんの軽快な言葉と山脇さんのかわいい絵に、思わずニッコリしてしまいます。

からすのおかしやさん

かこ さとし／作・絵
偕成社
2013年 ¥1,100-

『からすのパンやさん』の４人の子どもたちが成長して、パンやさんのるすばんをしました。パンを作っているうちにクッキーやケーキまでできあがって…。『からすのやおやさん』『からすのてんぷらやさん』『カラスのそばやさん』とお話は続きます。

どんぐりむらのぱんやさん

なかや みわ／さく
学研教育出版
2011 年 ¥1,200−

パン屋を切り盛りするどんぐりのパパとママ、そして遊びに行きたい子どもたち。パパとママは新作パンの開発に失敗ばかり。でも翌朝起きると…。家族の思いがつまった心温まる素敵なお話です。おいしいパンが食べたくなりますよ。

せきとりしりとり

サトシン／作
高畠 那生／絵
文渓堂 2011 年 ¥1,300-

“せきとり、けいこにせいをだす”“すごいなげわざ、バッチリきまる”…。リズミカルなしりとりで関取の一日を描いた絵本。迫力ある絵としりとりの楽しさに子どもも大人もきっと大満足！

小学校低学年から

二ひきのかえる

新美 南吉／文
渡辺 美智雄／絵
安城市中央図書館
2013年 ¥800−

冬眠前にけんかをした緑色と黄色のかえる。春になって再びけんかを始める前に、２匹は池に飛び込んで体についた泥土を洗い流します。「よくねむったあとでは、人間でも蛙でも、きげんがよくなるものであります。」という最後の文が大人にも印象的。

ちいさな はくさい

くどう なおこ／さく
ほてはま たかし／え
小峰書店 2013年 ¥1,400−

畑の列からからはみだした小さな白菜を、そばにいる柿の木が見守ります。大きくなった他の白菜たちがが「やおや」に行ってしまい、小さな白菜はひとりぼっちです。これからの季節にぴったりの元気が出る絵本です。

たぬきの ばけた おつきさま

西本 鶏介／作
小野 かおる／絵
鈴木出版 2011年 ¥1,200−

心優しいたぬきの男の子が、お母さんを亡くして悲しむたぬきの女の子を励まそうとします。そして、それを手伝ってくれたおまわりさんにもお礼をしてくれます。心がぽかぽかあたたかくなるようなお話ですよ。

４こうねんのぼく

ひぐち ともこ／さく・え
そうえん社
2005年 ¥1,200-

父と子どもの姿が読みやすい関西弁で書かれています。「１光年離れた星から地球を見ると、１年前の地球が見える」と先生に聞いたお兄ちゃんが家族で見たい景色とは…。何気ないセリフがとても切ないお話です。

かあちゃん取扱説明書

いとう みく／作
佐藤 真紀子／絵
童心社 2013年 ¥1,200−

「かあちゃんは、ほめるときげんがよくなるんだ。」―そうか、あつかい方だ！あつかい方さえまちがえなければ、かあちゃんなんてチョチョイのチョイだ。哲哉は、かあちゃん取扱説明書を考えた。

つるばら村のパン屋さん

茂市 久美子／著
中村 悦子／絵
講談社 1997年 ¥1,400−

つるばら村のくるみさんのお店に、森の動物や木の葉の服をまとった男の子が訪れます。焼き立てパンの香りがしそうなおはなしが６つ入っています。おはなしにはパンの名前がついていて、猫好きな人には「あんこのパン」がおすすめです。

願いがかなうふしぎな日記

本田 有明／著
ＰＨＰ研究所
2012年 ¥1,300−

部屋を掃除したら、使っていないノートが出てきた。１年前に亡くなったおばあちゃんのプレゼント。おばあちゃんの顔を描くと、声も聞こえてきた。「望みはこれに書いておくといいよ。きっとかなうから」日記に書いたことは全部で10個。すると…。

夜の学校

田村 理江／作
佐竹 美保／絵
文研出版 2012年 ¥1,400-

夕方、塾へ行くバスを乗り過ごしてしまった蘭は美浜公園で灯台守と出会う。灯台に光がともり、夜の町を家に戻る。やさしい両親、夜はじまる学校、いつものクラスメート。そっくりだけど別の世界？みんなニセモノ？ニセモノは私のほう？

小学校中・高学年から

目でみることば

おかべ たかし／文
山出 高士／写真
東京書籍 2013年 ¥1,300－

日常生活でしばしば見聞きすることばの由来そのものを写真で見せてくれる本。たとえば“ひいき”ということば。語源は中国に伝わる亀に似た伝説の生き物だそう。へえー、なるほどと思うことばがたくさん載っていて、家族の会話もはずみそうです。

フットボール・アカデミー

トム・パーマー／作
石崎 洋司／訳
岡本 正樹／絵
岩崎書店 2013年 各¥900－

サッカーが大好きなジェイクはプロ選手をめざして名門ユナイテッドの入団テストを受ける。さて、結果は…？チームプレーが大事なサッカーを通して成長していく姿やサッカーの面白さが楽しく書かれています。（３巻まで刊行中）

アモス・ダラゴン（全12巻）

ブリアン・ペロー／作
高野 優／監訳
HACCAN／イラスト
竹書房 2005~07年 各¥800－

光と闇が争うとき、伝説の仮面がよみがえる！”仮面を持つ者”に選ばれた少年アモスが知恵と勇気で敵に立ち向かう。さまざまな国の民話をベースにしたわくわく冒険ファンタジーです。

科学感動物語 7 IT 新しい世界を創った人々

学研教育出版
2013年 ¥1,500-

アップル社創業のスティーブ・ジョブズ氏、マイクロソフト社創業のビル・ゲイツ氏など、現在のＩＴ社会を創った人たちの人生を紹介。カリスマと呼ばれている人たちの成功と栄光、その裏にある苦労や挫折も合わせて知ってくださいね。

写真絵本 いのちつぐ「みとりびと」（全４巻）

國森 康弘／文・写真
農山漁村文化協会
2012年 各¥1,800 -

人が亡くなっていく時間の流れをやさしいまなざしで捉えた、看取りの絵本シリーズです。自分の「いのち」と大切な人たちとのつながりが感じられて、温かな感情が湧き上がってくる写真絵本です。

オリンピック ヒーローたちの物語

大野 益弘／著
ポプラ社 2012年 ¥1,200-

見るものの心をゆさぶるオリンピックの感動。その裏に隠された、アスリートたちの苦悩や努力。世代をこえて胸にひびく、オリンピックが生んだ熱い物語。2020年、東京オリンピック開催が決定。ヒーローたちの挑戦は、なおも続く。

見つけるぞ、動物の体の秘密

遠藤 秀紀／著
くもん出版 2010年 ¥1,400-

著者はありとあらゆる動物死体をかたっぱしから集める”解剖男”として有名です。動物の体に隠された進化の秘密を研究し、未来へとひきつぐ科学の役割と営みを分かりやすく解説しています。

いのちのバトン―97歳のぼくから君たちへ

日野原 重明／詩・文
いわさき ちひろ／絵
ダイヤモンド社 2008年 ¥1,100-

発刊当時９７歳の現役医師・日野原重明と絵本画家・いわさきちひろのコラボ詩画集。小学生とそのお母さんに「いのち」「平和」「家族」について優しく語ります。親子で読むと絆がより深まりそうな、心癒される本です。

小学校高学年から、大人まで

楽しく演じて、敬語の達人 光村の国語　（全３巻）

蒲谷宏・工藤直子・高木まさき／監修
青山由紀・関根健一／編集
光村教育図書 2007年 各¥3,200-

敬語を上手に使えると、相手への敬いの気持ちや思いやりがうまく伝わります。クイズやゲームで楽しみながら敬語の達人になりませんか？子ども向きの本ですが、大人のほうが勉強になるかも…。

ディズニーランドであった心温まる物語

東京ディズニーランド卒業生有志／著
香取 貴信／監修
あさ出版　2013年 ¥1,300−

夢と魔法の王国、東京ディズニーランド。そのキャストたちが体験した、とっておきのハートフルストーリー。相手の想いに寄り添い、行動する―。人と人との出逢いから生まれたディズニーマジックの奇跡が、あなたの心をやさしく包みます。

ぼくのしょうらいのゆめ

市川 準、内田 裕也ほか／著
文藝春秋（文春文庫）
2009年 ¥714−

子ども時代に思い描いていた“将来の夢”を、各界の第一線で活躍する１２人が語ります。夢の形も、かなえる方法も人それぞれ。中にはまだ夢の途中という人もいます。大人が読むと、懐かしく思う写真も多く収録されています。

2.43 清陰高校男子バレー部

壁井 ユカコ／著
集英社　2013年 ¥1,700−

地方弱小男子バレー部が、悩み・葛藤・友情を経て、だんだんチームが一つになっていく。不器用でひたむきなバレー男子たちの青春小説。爽やかな気持ちが残る１冊です。

TOKUGAWA 15（フィフティーン）

堀口 茉純／文・絵
草思社 2011年 ¥1,200−

家康から慶喜まで１５代、徳川歴代将軍の素顔が、ユニークなイラストと文章で紹介されています。有名な人、知名度の低い人などそれぞれ個性的な将軍様ばかりです。お気に入りの将軍様を見つけてみてください。

遠野物語 remix

京極 夏彦・柳田 國男／著
KADOKAWA
2013年 ¥1,400−

岩手県遠野の伝承を地元作家・佐々木喜善とともに集めた柳田国男の名著「遠野物語」。原作の文語体を京極夏彦が読み解き、現代語に改めました。赤い顔の河童の譚など、子どもに読み継がせたくなる１冊です。

モモ

ミヒャエル・エンデ／作
大島 かおり／訳
岩波書店 1976年 ¥1,700−

定評のあるロングセラーです。「この本を読んだ人」という先生の問いかけに、手をあげた中学生が片手に満たなかったという話を聞きました。人として自由に生きることのできる時間の大切さに気付かせてくれます。ぜひ中学生に読んでほしいです。

名作アニメの風景　５０

パイ インターナショナル
2011年 ¥1,800-

「フランダースの犬」のラストシーンに出てくる教会はどこにあるのか。「魔女の宅急便」でキキが飛んでいた町のモチーフはどこか。誰でも知っている名作アニメの名場面の地、モチーフとなった土地を美しい写真とともに紹介しています。